

どろんこだいすき

令和8年6月1日
千代田区立昌平幼稚園
園長 大川 美紀子

『昌平キッズ』ピオトープだより NO. 246

5月は土となかよしや田起こし・田植えがあり、園庭にはそれぞれのクラスの子どもたちが大切に育てている栽培物がたくさんあります。一つ一つの生長を楽しみにしながらみんなで大切に育てていきたいと思います。

田起こし

5歳児きりん組では、担任が稲作について話題にすると、「きりん組が育てるんだよね!」「田起こしするの?」などといった声上がり、子どもたちがきりん組としての稲作活動に意欲や期待をもっている様子が伺えました。

田起こしは、稲がしっかり根を伸ばせるよう柔らかい土にするために行うこと、美味しいお米が育つようにと願いを込めて取り組むことを、学級のみんで確認して取り組みました。

うさぎ組での田起こしの経験から、今年は更に伸び伸びと、田んぼの泥ならではの感触を味わう姿が見られました。一年前は慎重になっていた子も、挑戦したり感触の面白さに気付いたりして泥となかよくなる姿がありました。学級のみんで一緒に“美味しいお米ができますように”と願いを込めて田起こしをしました。



「ヌメヌメしているよ〜!」



先生と手をつないでチャレンジ!



「見て!泥だらけ!」



4歳児うさぎ組も田起こしをしました!

田植え

きりん組は、AGRI BATON PROJECT（農業の楽しさや魅力を子どもたちに伝える活動をしている団体）の米農家の方をお招きし、稲作についてお話していただきました。一年間の稲作の物語の読み聞かせを聞いたり、米粒の形を教えていただいたりしたことで、稲作への期待が高まりました。

そして迎えた田植えの日。地域指導者の方から、田植えの方法を教えていただき、一緒に取り組みました。泥の中へ真っ直ぐ苗を差し込むことが大切で、難しいところですが、回数を重ねるうちに上達し意欲や自信を高めていく姿が見られました。3歳児ひよこ組と4歳児うさぎ組も、クラスごとにバケツに田んぼの泥を入れ、苗を植えました。



AGRI BATON PROJECTの様子



植え方を丁寧に教えてもらいました。



「先生、自分でできるから手伝わなくて大丈夫!」



バケツ稲

土となかよし

今年度も地域指導者の方のご指導の下“栄養たっぷりのいい土になるように”と、手で土を混ぜて、土作りをしました。土の中からは、幼虫やミミズ、ダンゴムシ等の生き物が出てきて、子どもたちは喜んで見たり触れたりしていました。うさぎ組ときりん組は、一人一人自分の花を植えました。土を入れる分量や苗の植え方など地域指導者の方に確かめながら丁寧に植えていました。

また、みんなで作った土をプランターに入れて、クラスごとに、野菜の苗植えや草花の種蒔きをしました。生長を楽しみに水やりをして育てています。

ひよこ組



うさぎ組



きりん組



《ピオトープクイズ》

とんぼ池の奥に生えている木に、ある果物の赤ちゃんの実がなっています。これから黄色くなって、とてもすっぱい実です。

この実は何の実でしょうか？

- ① キウイ
- ② りんご
- ③ ゆず

6月5日（金）の登園時まで
に、解答用紙をピオトープクイズ
応募箱に入れてください。

